

容器包装削減活動とリサイクルによるCO₂削減効果（環境省「3R行動見える化ツール」プロジェクトによる）

ユニーでは循環型社会構築のための活動として、お客様と一緒に「容器包装の3R」を行っています。使用済みの容器包装をリサイクルボックスで回収、レジ袋を購入すれば繰り返し使う、マイバッグやマイバスケット持参でレジ袋を使用しない、といった3R活動に取り組んでいます。これらの活動が資源循環だけではなく、CO₂の発生抑制に貢献し、地球温暖化防止に繋がることを、環境省のプロジェクトに参加し数値化することで確認できました。



リサイクルボックス

- レジ袋を辞退すると、33gのCO₂が削減できます。

ユニーが2006年に使ったレジ袋 …… 3億3,363万枚

2012年に使ったレジ袋 …… 1億1,074万枚

2億2,289万枚削減（CO₂は7,355t削減）

2012年度リサイクル回収によるCO₂削減量

	回収実績 (kg)	CO ₂ 削減量 (kg)
アルミ缶	555,663	3,389,547
牛乳パック	575,332	514,347
食品トレイ	291,151	1,441,198
ペットボトル	1,865,920	6,064,240
合 計		11,409,332

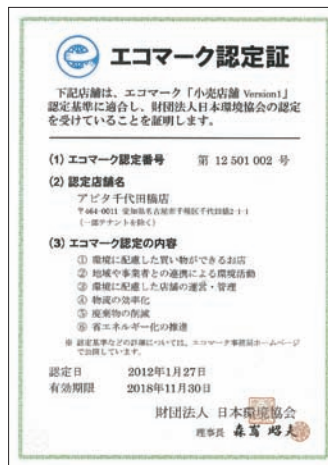
- リサイクルボックスで回収すると
アルミ缶1kgで6.1kgのCO₂削減
牛乳パック1kgで0.894kgのCO₂削減
食品トレイ1kgで4.95kgのCO₂削減
ペットボトル1kgで3.25kgのCO₂削減

低炭素社会を目指すエコストア

アピタ千代田橋店がエコマーク小売店舗第1号に認定

名古屋市のアピタ千代田橋店は、日本環境協会が新たに認定基準を制定したエコマーク小売店舗第1号として2012年1月27日に認定されました。ユニーは持続可能な社会を目指し、店舗で具体的に実践しています。その活動と成果がエコマーク小売店舗の認定基準に達していると認定されたのです。特に評価された項目は、次のとおり。

- 食品リサイクルループを実践し生産した野菜などを販売、さらにその工程を消費者に見学や農業体験を通して伝えていること。
- 容器包装廃棄物削減とリサイクル推進の取り組み。
 - ・レジ袋辞退率……89.4%（2011年度）
 - ・青果、鶏卵のパックにバイオマスプラスチックを使用。使用後は回収しリサイクルしている。
 - ・ばら売りの促進やトレイを使わない販売の試行など
 - ・店頭回収の実施および再生品化の推進（牛乳パックから製造したトイレトペーパーの販売など）
- 消費者交流などによる環境啓発活動の実施
 - ・地域の消費者と一緒に「環境にやさしいお買い物」をテーマにした交流会を開催している。
 - ・子ども達のお店探検など、次世代に環境教育を行っている。



お店探検隊で推進するエコストア



エコマーク認定パネル

電気自動車の充電スタンドを設置

ユニーの大型店舗アピタやモールには1,000台以上の駐車場があります。お客様が自動車で来店されると、CO₂やその他の排気ガスが排出されます。そこで、環境にやさしい来店方法として電気自動車を使っていただくために、充電スタンドの設置を推進しています。

お客様のお買い物中に充電していただくことができ、遠方からも安心して来ていただけます。

2013年6月時点で、普通充電器・急速充電器の設置台数は18店舗21台です。



電気自動車充電スタンド

電気自動車充電スタンド設置店舗

地 区	店 舗
中 京	アピタ千代田橋店・アピタ安城南店・アピタ刈谷店・アピタ豊田元町店・ピアゴ蟹江店・ピアゴ新城店・ピアゴ可児店・リーフウォーク稲沢・アクアウォーク大垣
関 東	アピタ長津田店・アピタ本庄店・アピタ佐原東店・けやきウォーク前橋・ピオニウォーク東松山
山 静	アピタ富士吉原店
北 陸	アピタ福井大和田店・アピタ敦賀店・ピアゴ金沢ベイ店

※1店舗2台設置もあります